

2007

2/3 土

25 日

2月3日(土)は午後1時からの
公開となります。

第5回市民コレクション展

自然を創る

—バードカービングの魅力—

記念イベント「バードカービングづくりを体験しよう」
2月18日(日) 10:00~15:00 (要・事前申込み)

開館時間／午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日／毎週月曜日(2月12日(月)は開館し、
翌日休館となります。)

入館料／【大 人】520円(420円)
【高・大学生】320円(200円)
【小・中学生】100円(50円)

*()内は20名以上の団体料金です。

*未就学児、昭和13年4月1日以前にお生まれの方、

障害者手帳をご持参の方は入館無料です。

*この料金には、本館内常設展・野外施設入場料が含まれます。

*毎週土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。

次回企画展

第39回企画展

「ありんこアートの大冒険
—土の中の生きものを探せ—」
2007年3月17日(土)～6月17日(日)



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県坂東市大崎700番地 TEL 0297-38-2000
ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

主催／ミュージアムパーク茨城県自然博物館 共催／NHK水戸放送局 後援／日本バードカービング協会、ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

作：内山春雄

自然を創る

—バードカービングの魅力—

バードカービングとは、木片から鳥を彫りだして彩色する、野鳥の彫刻です。

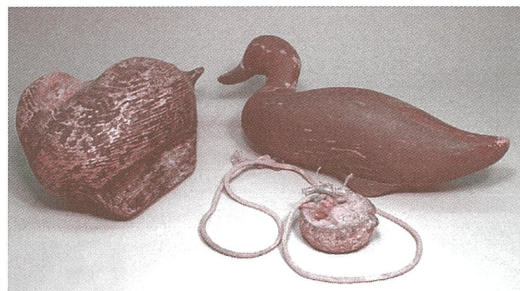
バードカービングの知名度はそれほど高くありませんが、全国各地で製作の教室が開かれており、静かなブームとなっています。博物館でもさまざまな場面でバードカービングを展示資料として使用することがあり、鳥類の分類や生態の教育普及に役立っています。

今回は、市民の方々からのバードカービングコレクションを中心に展示を構成します。

バードカービングの歴史

バードカービングは、1800年代中頃にアメリカ東部で、ガンやカモ類をおびき寄せるための狩猟目的とした罠(おとり)として作られていたデコイから派生したものだといわれています。やがて、そのデコイをより本物に似たものに近づけようと精密かつ芸術性を高めていったものがバードカービングとよばれるようになりました。日本には1979年にバードカービングが紹介され現在に至っています。

狩猟用のデコイ
(提供:内山春雄)



バードカービングで自然保護

もともと鳥を獲るための罠であったデコイですが、その鳥を誘引する効果を利用して、野鳥の保護活動が行われるようになり注目を集めています。鳥島のアホウドリを、地滑りが起こる急斜面にある従来のコロニーから移動させるためにデコイを使いました。また、山口県周南市の八代では、地域のシンボルであったナベヅルを保護するためにデコイを有効に使う活動も行われています。



デコイによるナベヅルの誘引
中央手前が本物のナベヅル、その他はデコイ

(写真提供:山口県周南市)

主な展示物

- 海・海岸にすむ鳥のカービング
- 川・湿地にすむ鳥のカービング
- 雑木林・草地にすむ鳥のカービング
- 森林・山にすむ鳥のカービング
- バードカービングの歴史
- カービングづくりの道具
- カービングのタッチングコーナー
- 内山春雄(日本バードカービング協会会長)作品
- 自然保護の取り組み など



交通案内

【車利用の場合】

- 常磐自動車道谷和原I.C. から20分
- 古河方面から境町経由50分
- 筑西方面から下妻市経由1時間10分
- 土浦方面から常総市経由1時間

【鉄道・バス利用の場合】

- つくばエクスプレス守谷駅西口1番乗り場から関東鉄道バス「岩井行き」又は「猿島行き」乗車→「自然博物館入口」下車→徒歩5分
- 東武野田線愛宕駅から茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
- 東京駅八重洲南口から高速バス「岩井行き」乗車→「大利根カントリー入口」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分

※ペット及び遊具等の持ち込みはご遠慮ください。

セイタカシギ(作:内山春雄)